

平成 29 年度 教育標準時間認定を受けた子どもに係る利用者負担額について (1号認定)

利用者負担額（保育料）は、保護者の方の所得に応じて神戸市が決定します。

市町村民税（特別区民税を含む。）額により階層に区分されており、この階層区分は、子どもと同一世帯に属する父母及び父母以外で家計の主宰者となる方のすべての市町村民税の合算額によって決定します。

1. 概要

- ・算定に用いる税額は、市町村民税（特別区民税を含む。）額です。
- ・市町村民税額に応じた利用者負担額になるよう、階層に分かれています。
- ・階層区分と子どもの年齢、きょうだいの順によって利用者負担額を決定します。

2. 利用者負担額の切替え時期は毎年 9 月

4 月分～8 月分は前年度、9 月分～翌年 3 月分は当該年度の市町村民税額により決定します。

平成 28 年度と平成 29 年度の市町村民税額が異なる場合は、9 月分から階層区分が変更となり利用者負担額が変更になる場合があります。

例 平成 29 年度の場合

平成 29 年

平成 30 年

4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月 1 月 2 月 3 月

前年度（平成 28 年度）市町村民税額に 基づく利用者負担額	当該年度（平成 29 年度）市町村民税額に 基づく利用者負担額
-----------------------------------	------------------------------------

3. 家計の主宰者の認定基準

子どもの父又は母以外の世帯員（祖父母など）が家計を主として維持していると認められる場合には、その主たる生計維持者を「家計の主宰者」と認定するとともに、父母及び家計の主宰者それぞれの市町村民税額の合算額に基づいて利用者負担額を決定します。

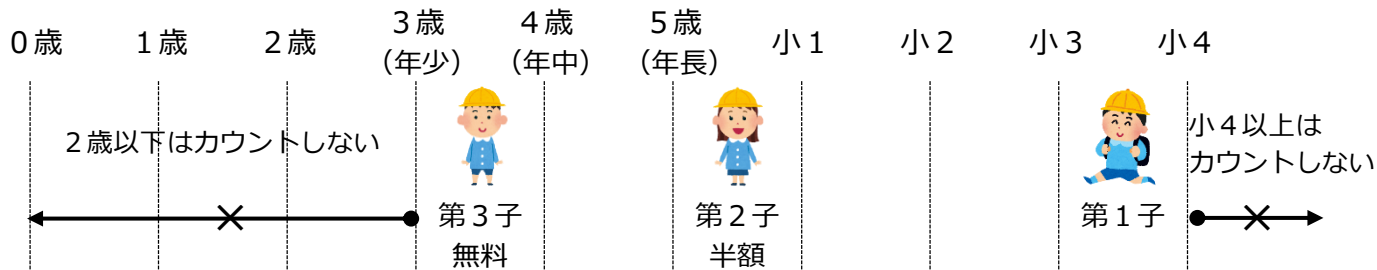
次の各号に掲げるいずれかに該当する場合は、父母以外の方を家計の主宰者と認定します。

- (1) 父母以外の扶養義務者と子どもとで構成される世帯
- (2) 子どもの属する世帯で、以下のいずれにも該当する世帯
 - ・父母の市町村民税額が非課税及び収入（給与収入の他、課税の対象とならない手当や公的年金を含む。）の合計が 103 万円未満
 - ・同居している父母以外の扶養義務者の所得（総所得金額）が 236 万円を超える
- (3) 生計を維持していると認められる子どもの父又は母が、父母以外の扶養義務者の経営する事業に従事している（いわゆる事業専従者）である場合

4. 多子・ひとり親等の家庭の利用者負担額軽減

同一世帯に小学校3年生までのきょうだい（小学校就学前の子どもについては、認定こども園、幼稚園、認可保育所等を利用するきょうだい対象です。P.4 利用者負担額表の注1を参照。）がいる場合、最年長の子どもを第1子、その下の子を第2子・・・と数えます。

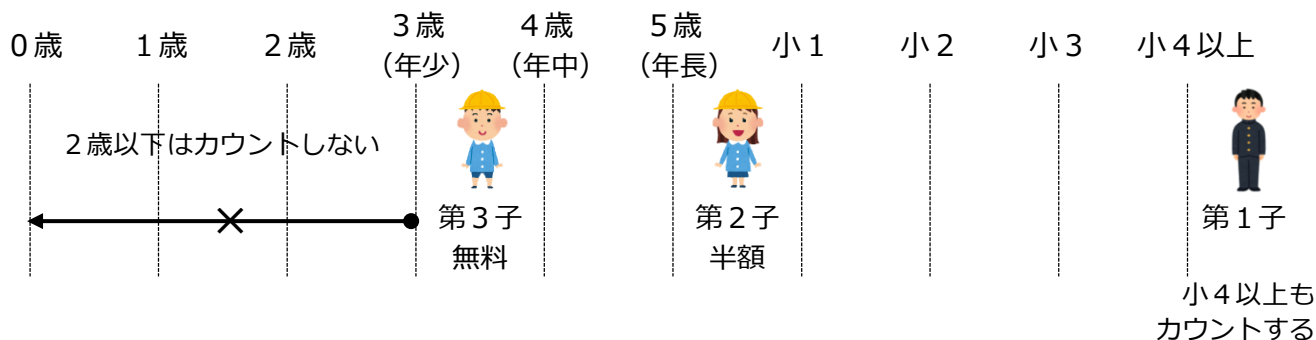
第1子は全額負担、第2子は半額負担、第3子以降は利用者負担額は無料です。



市町村民税所得割課税額 119,000 円以下の世帯の場合、施設等の利用の有無や年齢に関わらず、当該子どもと同一世帯に属して生計を一にするきょうだいのうち、最年長の子どもを第1子、その下の子を第2子・・・と数えます。

※同一世帯、生計同一等の状況は、公的医療保険や税の扶養状況で神戸市が確認します。

※別居している子ども（寮等）や18歳を超えた子どもについても同様です。



市町村民税所得割課税額 77,100 円以下の世帯のうち、ひとり親家庭、在宅障害児（者）のいる世帯等は、上記のきょうだいの軽減の他に、利用者負担額が軽減されます。

詳しくは、「平成 29 年度 教育標準時間認定を受けた子どもに係る利用者負担額表」をご確認ください。

5. 利用者負担額表の見方について

「子どものための教育・保育給付支給認定決定通知書」に記載されている、階層区分をご確認ください。

「①扶養している子どもにおいて、年長者から何番目の子どもか」及び「②同時在園及び小学校1年生～3年生の子どもで年長者から何番目の子どもか」で決定します。

①扶養している子どもにおいて、年長者から何番目の子どもか

当該子どもと同一世帯に属して生計を一にしているきょうだいのうち、最年長の子どもを第1子、その下の子と第2子と数えます。

②同時在園で年長者から何番目の子どもか

①で小学校3年生までのきょうだい(小学校就学前のこどもについては、認定こども園、幼稚園、認可保育所等を利用するきょうだいが算定の対象です。P.4 利用者負担額表の注1を参照。)のうち、最年長の子どもを第1子、その下の子を第2子と数えます。

例 市民税所得割課税額が70,000円(階層区分1B2)の方の場合

きょうだい構成	①扶養している子順	②～小3の子順	利用者負担額
小学校6年生	第1子	—	—
小学校3年生	第2子	第1子	—
5歳児(幼稚園)	第3子	第2子	0円

6. 寡婦(夫)控除のみなし適用について

神戸市では、婚姻歴のないひとり親家庭を対象に、税法上の寡婦(夫)控除が適用されるものとみなして、利用者負担額の算定を行う制度「寡婦(夫)控除のみなし適用」を実施しています。

対象は、神戸市で支給認定を受けて施設・事業所を利用し、所得を計算する年の12月31日(現況日)及び適用を受けたい期間において、次の(1)～(3)のいずれかに該当する方です。

- (1) 婚姻歴がなく、また現在婚姻状態(事実婚含む。)にない母であり、扶養親族又は生計を一にする子を有している方
- (2) (1)であり、かつ扶養親族である子を有し、合計所得金額が500万円以下の方
- (3) 婚姻歴がなく、また現在婚姻状態(事実婚含む。)にない父であり、生計を一にする子がおり、合計所得金額が500万円以下の方

手続きは、次の書類を提出してください。

- (1) 寡婦(夫)控除のみなし適用に係る申出書
- (2) 申出者(支給認定における保護者)及び子の戸籍全部事項証明書原本

※必要に応じて、その他の書類(各種証明、申立書など)を提出いただくことがあります。

※年度等の更新にあたっては、再度手続きをしていただきます。

7. その他

- ・利用者負担額を決定するためには、世帯状況や課税状況の確認が必要となります。変更があった場合は、すみやかに神戸市こども家庭局事業課までお申し出ください。
- ・神戸市が決定する利用者負担額以外に、各施設で徴収するものがあります。
- ・施設を休まれても、毎月の利用者負担額は全額お支払いいただきます。
- ・やむを得ない失業等により世帯収入が前年に比べて著しく減少するなど、利用者負担額の支払いが困難な方には、階層区分変更の特例が適用される場合があります。お申し出は、神戸市こども家庭局事業課にお問い合わせください。

平成29年度 教育標準時間認定を受けた子どもに係る利用者負担額表

(単位:円)

各月初日の支給認定子どもの属する世帯の階層区分			利用者負担額(月額)					
階層区分	定義	①扶養している子どもにおいて 年長者から何番目の子どもか	第1子	第2子		第3子以降		
		②同時在園及び小1～小3子ども ^(注1) で 年長者から何番目の子どもか		第1子	第2子	第1子	第2子	第3子 以降
1A1	生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む。)又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による支援給付受給世帯		0					
1A2	市町村民税非課税世帯 市町村民税所得割がかかっていない世帯(均等割のみ課税)	注2	3,000	0		0		
1B1			所得割課税額 48,600円未満である世帯	10,200	5,100		0	
1B2	1A1階層を除き、当該年度市町村民税(特別区民税を含む。)額の区分が次の区分に該当する世帯(なお、4月分～8月分は前年度市町村民税額の区分により算定する)	注2	14,100	6,800		0		
1C1	所得割課税額 77,101円以上119,000円以下である世帯		9,000		0			
1C2	所得割課税額 119,001円以上169,000円未満である世帯		19,200	15,700	9,000	14,700	9,000	0
1C3	所得割課税額 169,000円以上211,200円以下である世帯		19,200	19,200				
1D	所得割課税額 211,201円以上である世帯		20,900	10,500		20,900	10,500	0

(注1) 「同時在園及び小1～小3子ども」とは、支給認定を受ける子どもと同一世帯に属する小学校3年までの子ども(小学校就学前については、認定こども園、幼稚園、認可保育所、地域型保育、特別支援学校幼稚部、児童心理治療施設通所部に入所(園)又は児童発達支援もしくは医療型児童発達支援を利用している場合に限る。)です。

(注2) 1A2、1B1又は1B2階層に属している世帯のうち、ひとり親家庭、在宅障害児(者)のいる世帯等は、以下の額となります。(この場合、支給認定通知書の階層区分に「*」と追記されます。)

扶養している子どもにおいて 年長者から何番目の子どもか	第1子	第2子以降	(単位:円)
1A2階層	0	0	
1B1階層	3,000	0	
1B2階層	3,000	0	

(注3) 市町村民税(特別区民税を含む。)額を計算する場合には、寄附金税額控除、外国税額控除、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除、配当控除、住宅借入金等特別税額控除は適用しません。

(注4) 施設によっては、教育標準時間外に園児を保育する「預かり保育」を実施しています。時間や費用は各園によって異なりますので、直接お問い合わせください。

問い合わせ先	神戸市こども家庭局子育て支援部事業課(利用支援担当)	078-322-6923
--------	----------------------------	--------------